研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

	T			1	I		
著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
髙松 潔		門脇 孝、 小室 一 成、宮地 良樹	診療ガイドラ インUP-TO-DA TE 2024-202 5	ルビュー	東京	2024	953-960
	総論 chapter7 包括的性教育である国際セクシュイタ リティ教育ガイダンスと日本の学校 における性教育 (性に関する指 導)の違い	荒田尚子	プレコンセプ ションケア	メジカル ビュー	東京	2024	78-85
荒田尚子	妊娠糖尿病	北澤 公	ちょけい たまま たまま たまま たまま まま まま まま まま まま まま まま まま	金芳堂	京都	2023	258-266
	妊娠に伴う甲状腺 機能の変動は?	田辺晶代	内分泌代謝疾 患クリニカル クエスチョン 100改訂第2版		東京	2023	44-45
荒田尚子	シケア 母歴内科	佐田文宏 福岡秀興	DOHaD 先制医 療への展開	金原出版	東京	2023	131-137
荒田尚子	妊娠で発見される 甲状腺疾患	伊藤公一、渡邊奈津子	実地医家のた めの見つけ る・見逃さな い甲状腺疾患 の診断	日本医事新報社	東京	2023	208–216
<u>荒田尚子</u>		郎、龍野一	ここが知りた い!内分泌診 療ハンドブッ ク		東京	2023	247-252
髙松 潔	更年期障害	五十嵐隆、 中林正雄、 竹田省	母子保健マニ ュアル 改訂 8版	南山堂	東京	2023	111-114

髙松 潔	骨粗鬆症	五十嵐隆、 中林正雄、 竹田省	母子保健マニ ュアル 改訂 8版	南山堂	東京	2023	115-116
<u>高松</u> <u>潔</u> 、小川 真里子	月経異常・更年期 障害で発見される 甲状腺疾患		実地医科のための 見つける・見逃さない甲状腺疾患の診断	日本医事新報社	東京	2023	180-196
小川真里 子、 <u>髙松</u> <u>潔</u>	月経前症候群	中井吉英、 久保千春	心療内科学 -診断から治 療まで-	朝倉書店	東京	2022	273-277
高橋幸子	マンガでわかる! 28歳からのおとめ のカラダ大全 今 更聞けない避妊・ 妊娠・妊活・病 気・SEXの超キホ ン		マンガを記された。 マンガを記された。 マンガを記された。 マンガンではいる。 マンガンではいる。 マンガンではいる。 アンガンでは、 アンが、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンが、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンがは、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンがは、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンがは、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンが、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンが、 アンガンでは、 アンガンでは、 アンが、 アンが、 アンが、 アンが、 アンが、 アンが、 アンが、 アンが	KADOKAWA	日本	2022	
高橋幸子	地域で、性教育な どの活動を行うに は?	井上真智子	Q&Aで学ぶジェネラリスト のための女性 診療BASIC	金芳堂	日本	2022	307-315
高橋幸子	学校性教育の現状 と未来	中山明子、 小橋孝介	ステップアッ プ思春期の診 かた	金芳堂	日本	2022	
荒田尚子	甲状腺疾患と妊娠	日本リハビ リテーショ ン医学会		文光堂	日本	2022	66-70
荒田尚子	妊娠前の管理	日本糖尿 病・妊娠学 会	妊婦の糖代謝 異診療・管理 マニュアル	株式会社 メディカ ルビュー 社	日本	2022	31-35
荒田尚子	糖尿病合併妊娠		糖尿病最新の 治療2022-202 4	南江堂	日本	2021	151-153
荒田尚子	妊娠と甲状腺疾患		代謝·内分泌 疾患診療指針 2021-22		日本	2021	363-367
荒田尚子	糖代謝異常と妊娠 高血圧症候群		妊娠高血圧症 候群の治療指 針2021		日本	2021	167-170

荒田尚子	甲状腺疾患と妊娠 高血圧症候群		妊娠高血圧症 候群の治療指 針2021		日本	2021	171-175
荒田尚子	ンケア	野由美、関	周産期医学必修知識(第9版)	東京医薬社	日本	2021	1191–119 4
荒田尚子	妊娠前からの栄養 ケア一時代はプレ コンセプションケ ア	本秀美		医歯薬出 版株式会 社	日本	2021	30-37

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
wa K, Morisaki N, <u>Arata N</u> , Wad	Association between gestational weight g ain and chronic dise ase risks in later l ife	Scientific R eports	14 (1)	659	2024
荒田尚子	プレコンセプションケ アとは	日本臨床栄養 学会雑誌	46 (1)	8-15	2024
飯岡 由紀子、 小川 真里子、 <u>髙松 潔</u>	更年期障害の患者に対する看護カウンセリングの効果の検討		31(2)	953-960	2024
川﨑麻紀、 <u>荒田</u> 尚子	妊娠糖尿病の産後のケ ア	糖尿病	67 (3)	143-146	2024
片井みゆき	からジェンダード・イ	Journal of G ender Medici ne.	1 (1)	16-23	2024.
片井みゆき	性差医療③<総論>性 差医学とジェンダー ド・イノベーション.	月刊薬事1月 臨時増刊号ウ イメンズヘル スケアのため の薬の使い方	66 (2)	302-308	2024.

	国際セクシュアリティ教育ガイダンスに基づく教材"まなブック"レベル2を用いた包括的性教育プログラム導入の効果と課題の検討	思春期学	42 (1)	159-165	2024
西岡笑子	プレコンセプションケ アと包括的性教育	思春期学	42 (1)	22-27	2024
西岡笑子	HPV ワクチン 日本思 春期学会以外の団体が 作成した動画の構成 と有効な啓発とは?	思春期学	42 (1)	134-139	2024
佐知子、三上由	働く女性の健康に関するWeb 調査 一女性特 有症状とその対処およ びがん検診受検状況 正規雇用と非正規雇用 の比較—	順天堂保健看護研究	12	12-23	2024
高橋幸子	女子から寄せられた悩 みから見えてきたこと		42 (1)	119-123	2024
高橋幸子	HPVワクチンキャッチ アップ接種と大学にお けるプレコンセプショ ンケア1. 大学病医院 における医学生への啓 発	日本思春期学 会雑誌	42 (1)	124-129	2024
高橋幸子	学齢期に必要な性の学び	指導と評価	2024 (3)	42-44	2024
a N, Sato S, Um ehara N, Morisa ki N, Ito Y, Sa	21 2	J Endocrine Society	7 (5)	bvad045	2023

S, Iwasaki M, Yamamoto S, <u>Tak</u> <u>amatsu K</u> , Okamu ra H, Arai M, N	The Japanese breast cancer society clini cal practice guideli nes for epidemiology and prevention of b reast cancer, 2022 e dition		31(2)	166-178	2023
M, Fukuma Y, K oike Y, Ozaki S, Iwasaki M, Y amamoto S, <u>Taka matsu K</u> , Okamur a H, Arai M, Ootani S, Iwata H, Saji S	Alcohol consumption and breast cancer pr ognosis after breast cancer diagnosis: a systematic review a nd meta analysis of the Japanese Breast Cancer Society Clini cal Practice Guideli ne, 2022 edition		30 (4)	519-530	2023
T, Uchiyama S, Matsuki S, Oga	Effect of γ-tocophe rol supplementation on premenstrual symp toms and natriuresi s: a randomized, dou ble-blind, placebo-c ontrolled study		23(1)	136	2023
荒田尚子	思春期からのプレコン セプションケア教育		62	13-18	2023
荒田尚子	出生前プレコンセプシ ョンケアとは	小児内科	55 (11)	1723-1726	2023
荒田尚子	多様なライフスタイル に対応する新しい健康 支援の概念「プレコン セプションケア」	エキスパートナース	39 (9)	132-136	2023
荒田尚子	日本で必要なプレコン セプションケアとは	精神科治療学	38 (5)	509-514	2023
荒田尚子	いろいろな世代の糖尿 病	総合診療	33 (3)	316-318	2023
荒田尚子、川﨑 麻紀	糖尿病女性,妊娠糖尿 病既往女性に対するプ レコンセプションケア	月刊糖尿病	15 (2)	60-65	2023
川﨑麻紀、 <u>荒田</u> 尚子	妊娠糖尿病のフォロー アップ	月刊糖尿病	15 (2)	22-28	2023

髙松 潔	更年期障害に対する加 味逍遙散の効果 -3つ のランダム化比較試験 の結果から-	産婦人科の実 際	72(3)	277–282	2023
小川 真里子、 柏崎 奏絵、 <u>髙</u> 松 潔	更年期障害	産科と婦人科	90(増刊号)	396-401	2023
髙松 潔	華麗なる加齢のために 〜更年期からの対応 の重要性〜	歯科衛生士	47	26-37	2023
	エストロゲンレベル低 下が更年期女性と産褥 女性の愁訴に与える影 響の比較	人科医学会雑	17(1)	8-14	2023
	婦人科がんサバイバー へのホルモン補充療法		72(10)	1015-1021	2023
小川 真里子、 髙松 潔	摂食障害 診療科別対 応 婦人科	精神科Reside nt	4(3)	30-32	2023
	婦人科からみたPMS/PM DD	女性心身医学	28(2)	176-182	2023
片井みゆき	性差医療の最新知識: 性ホルモンと代謝機能	日本臨床	81 (7)	988-993	2023
木下千栄子、 <u>片</u> 井みゆき	性差医学・医療をご存 じですか?	コミュニティケア	26 (1)	42-47	2023
下雅弘、斎藤悦	性差の視点から考える 社会・技術革新-ジェ ンダード・イノベーションの現在と未来	コミュニティ	171	14-65	2023
高橋幸子	思春期の子どもたちと 性の問題	日本医師会雑誌	152 (6)	617-620	2023
高橋幸子	性教育の実践と課題	周産期医学	53 (5)	753-757	2023
高橋幸子	自分や相手を大切にす る学び包括的性教育の 意義と実践とは?	月刊先端教育	2023 (9)	62-63	2023

高橋幸子	まじめに楽しく、「自 分ごと」になる講演会	教職研修	2023 (11)	26-27	2023
荒田尚子	プレコンセプションケ アって何ですか?なぜ 必要ですか?		52(増刊 号)	2-4	2022
荒田尚子	甲状腺の異常を指摘されました。妊活中の注 意点を教えてください。		52(増刊 号)	41-43	2022
荒田尚子	次世代の健康を見据え た新しい医療を	栄養と料理	7	98-101	2022
	Gestational glycosur ia, proteinuria, and borderline hyperten sion in pregnancy ar e predictors for the later onset of mate rnal chronic disease		49(2)	641-648	2022
武藤香織	公衆衛生・医療の観点 からみたジェンダー格 差	学術の動向	27(5)	29-34	2022
武藤香織	新型コロナウイルス感 染症対策と女性たちの 今	保健の科学	64(12)	796-802	2022
ue S, Nishio H, Yamagami W, Oc hiai D, Tanabe K, Tashima Y, H	Adenocarcinoma in si tu or early-stage ce rvical cancer is a r isk factor for prete rm delivery after ce rvical conization: a multicenter observa tion study	al Neonatal	35 (25)	9837-9842	2022
小川真里子、田 島恵、白橋真 由、樋口敦彦、 橋本志歩、杉山 重里、 <u>髙松潔</u>	刺激性下剤使用が習慣 化した閉経後慢性便秘 症女性における桃核承 気湯の有用性	産婦人科漢方 研究のあゆみ	38	96-100	2022

o Y, Nagai K, L ee JS, Yasui T, Kurabayashi T, <u>Takamatsu K</u>	Complaints of reduce d cognitive function ing during perimenop ause: a cross-sectio nal analysis of the Japan Nurses' Healt h Study		8	6	2022
樋口智子、上野 友美、内山成 人、吉原達也、 松木俊二、 <u>髙松</u> 潔	γ-トコフェロール, γ-トコトリエノー ル, エクオールおよび カルシウム含有食品の 黄体期における不定愁 訴改善効果 -無作為化 プラセボ対照二重盲検 クロスオーバー比較試 <u>111</u>	日本女性医学 学会雑誌	29 (4)	578-587	2022
敦彦、杉山重	当院における20年間の 悪性腫瘍患者に対する 治療前精子凍結保存		16(2)	163-170	2023
	Re-Evaluation of Spe rm Chromatin Structu re Assay (SCSA)		12	399	2023
Y, Yokota S, <u>T</u>	Reactive Blue Dye: H ighlights of Vacuole s in Human Sperm		12	400	2023
片井みゆき	「性差医学・医療:診療から研究開発「ジェンダードイノベーション:WaiSE」まで」	総合健診	50(1)	130	2023
yuki Katai, Nan ae Kondo, Masat oshi Kawana, Ke n Shimamoto	Relationship Between Aging, Menopause, a nd Eicosapentaenoic Acid/Arachidonic Aci d Ratio in Women Wit h Dyslipidemia in To kyo.	TWMUJ	6	108-116	2022
	大学における女性の健 康支援状況	防衛医科大学 校雑誌	47(1)	78-89	2022

西岡笑子	妊娠・出産におけるへ ルスリテラシー保健の 科学	保健の科学	64(4)	253-258	2022
M, Ogawa K, T akehara K, <u>Tach</u>	Interventions for ex pectant and new pa rents who are at inc reased risk for perp etrating child abuse and neglect: protoc ol for a systematic review and meta-anal		2022 Nov 2 1;12(11):e 064603. do i: 10.1136 /bmjopen-2 022-06460 3.		2022
ana Y, Kawasaki H, Tamon H, Is hii M, Wada YS, Oho M, Yakuwa N, Suzuki T, Sa	Transfer of Zolpidem to Cord Blood and B reast Milk: A Case S eries Evaluating Zol pidem Serum Levels a nd Outcomes in Birth and Suckling Infant s.	ed	2022 Dec;1 7(12):1034 -1038. do i: 10.1089 /bfm.2022. 0167.		2022
hi T, Yamaguchi S, <u>Tachibana</u> <u>Y</u> , Fujino J, Ig arashi M, Kawas hima M, Takahas hi R, Shinohara	Autistic children a nd adolescents with frequent restricted interest and repetit ive behavior showed more difficulty in s ocial cognition duri ng mask-wearing duri	ry	2022 Sep 1 4;22(1):60 8. doi: 1 0.1186/s12 888-022-04 249-8.		2022
imura M, Soneha ra H, Sekido Y, Kishimoto M, <u>T</u>	The characteristics of children referre d to a child protect ion team in Japan an d factors associated with decision-makin g: A retrospective s tudy using a medical	Negl	2022 Dec;1 34:105867. doi: 10.1 016/j.chia bu. 2022.10 5867		2022
Yakuwa N, Kawa saki H, Suzuki	Transfer of brotizo lam, periciazine, an d sulpiride in cord blood and breast mil k, and alprazolam in breast milk: a case report.	J Pharm Health Car e Sci	2022 Apr 1;8(1):10. doi: 10.1 186/s40780 -022-00241 -2		2022
ana Y, Wada YS, Kawasaki H, Ya	Transfer of Ethyl Lo flazepate Into Cord Blood, Breast Milk, and Infant's Serum: A Case Report.		2022 Jul-A ug 01;42 (4):416-41 8. doi: 1 0.1097/JC P.00000000 00001551.		2022

立花良之、小泉 典章	「医療・保健・福祉が 連携した周産期のメン	精神神経学雑 誌	124(1)		2022
	タルヘルスケア 一地 域の実態調査・介入研 究・均てん化を通して 見えてきた課題と今後 の展望」				
o A, Waguri M, Sato Y, Abe E, Shimada M, Fuku da S, Sasaki Y, Fujikawa K, Su giyama T, Ota E, Nakazawa J, Okoshi T, Takim	Protocol for an inte rventional study to reduce postpartum we ight retention in ob ese mothers using th e internet of things and a mobile applic ation: a randomized controlled trial (Sp ringMom)		23;21(1)	582	2021
a K, Kanazawa S, Kawasaki M, Morisaki N, Mit o A, Sago H, Ho	Association of mater nal birth weight wit h the risk of low bi rth weight and small -for-gestational-age in offspring: A pro spective single-cent er cohort study	PLoS :One	14;16(5)	e0251734	2021
ga H, Honda Y, Maeda E, Ota E, <u>Arata N</u>	Development of a hea lth literacy scale f or preconception car e: A study of the re productive age popul ation in Japan		10;21(1)	2057	2021
荒田尚子	甲状腺疾患と妊娠	Medical Prac tice	39(1)	66-70	2022
荒田尚子	なぜ日本でプレコンセ プションケアが必要か		10 (2)		2022
	大学における女性の健 康支援状況	防衛医科大学 校雑誌	47 (1)	78-89	2022
西岡笑子	出産におけるヘルスリ テラシー	保健の科学	64 (4)	253-258	2022
立花良之	医療・保健・福祉が連携した周産期のメンタルへルスケア 一地域の実態調査・介入研究・均てん化を通して見えてきた課題と今後の展望		124 (1)	47–54	2022

#		→ '''	(-)		
<u>荒田尚子</u>	妊娠糖尿病のマネジメント	医学のあゆみ	276 (5)	505-509	2021
荒田尚子	甲状腺検査と不妊症	産科と婦人科	88 (12)	1421-1426	2021
荒田尚子	糖尿病合併妊娠と妊娠 糖尿病の新展開	Pharma Medic a	39 (5)	45-47	2021
荒田尚子	甲状腺疾患	新薬と臨床	70 (9)	1072-1076	2021
立花良之	周産期の自殺の実態と 対策	精神科治療学	36 (9)	1065-1072	2021
立花良之	妊娠期からの多職種地 域連携による切れ目の ない親子の支援 須坂 トライアル 普及と実 装科学の観点から	精神科	39(2)	203-212	2021
立花良之	他科と連携したプレコンセプションケアと産後ケア 精神科医/心療内科医・公認心理師との連携 精神科/心療内科から	周産期医学	51 (4)	628-631	2021
西岡笑子	国際基準の科学的健康 教育 -国際セクシュ アリティ教育ガイダン スを日本で普及してい くために-	思春期学	39 (1)	60-65	2021
鈴木佳子, 西 <u>岡笑</u> <u>子</u>	青年期女性によるライフコース選択の影響要因;文献検討.		46 (3)	123-128	2021
片井みゆき	第2章内分泌内科5 甲状腺機能異常(不妊 症・更年期障害など)	産科と婦人科	89(増刊 号)	136-141	2022
片井みゆき	出会いに導かれ「性差 医療」から「研究開 発」まで	総合診療	31 (8)	1052-1056	2021